

令和3年度
発生予察情報

特殊報第3号

令和3年10月29日
埼玉県病害虫防除所
(TEL:048-539-0661)

ヨツモンカメノコハムシの発生について

県南中部のサツマイモほ場においてハムシ科甲虫が多数確認され、同定の結果ヨツモンカメノコハムシであることが判明した。

* 特殊報：新規の有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表するものです。

1 害虫名 ヨツモンカメノコハムシ *Laccoptera nepalensis* Boheman

2 対象作物 サツマイモ（かんしょ）

3 発生経過

(1) 令和3年10月上旬に、県南中部のサツマイモほ場において、食害された葉とともにハムシ科甲虫が30頭以上確認された。一部の個体を採取し横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、ヨツモンカメノコハムシであることが判明した。

(2) 本種は主に沖縄本島以南の熱帯～亜熱帯に分布していたが、平成11年に長崎県で確認されて以降分布を拡大し、現在までに鹿児島県、宮崎県、静岡県、東京都（大島、三宅島）、愛媛県、山口県、大分県、高知県、神奈川県、和歌山県、三重県、大阪府、徳島県の計14都府県において病害虫発生予察特殊報が発表されている。

4 本種の特徴及び生態

(1) 成虫は扁平な楕円形で、体長は7.5～9mm。鞘翅の中央部は茶褐色で隆起し、周辺部は半透明の褐色で、前方と後方に計4個の黒褐色の斑紋がある（写真1）。

(2) 幼虫は扁平な紡錘形で、周囲体側にトゲ状突起を有し、脱皮殻や糞を背面に背負う（写真2）。

(3) 成虫、幼虫ともに葉を食害し、直径数mm～10mm程度の円形または不定形の穴を空ける（写真1）。塊根部は食害しない。本種はサツマイモを始め、ノアサガオ、アサガオ、ヒルガオ等のヒルガオ科植物を食害する。



写真1 成虫と食害痕



写真2 幼虫

5 防除対策

- (1) 発生源となる恐れがあるので、ほ場周辺のヒルガオ科雑草を除去する。
- (2) 生育初期に発生が多いと被害が大きくなるので、薬剤による防除を行う。

表 かんしょのヨツモンカメノコハムシの防除薬剤例

薬剤名	IRAC コード	使用時期	使用方法	使用 回数
スミチオン乳剤	1 B	収穫7日前まで	散布	5回以内
アクセルフロアブル	2 2 B	収穫前日まで	散布	3回以内
ベネビアOD	2 8	収穫7日前まで	散布	3回以内
ブロフレアSC	3 0	収穫前日まで	散布	3回以内

(登録情報は令和3年10月29日現在)